

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	224上・下水道の整備		
施策のねらい (めざす姿)	すべての市民が、良質で安定した水が利用します。 下水道(汚水)が整備され、市民が衛生的な環境の中で生活しています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	マネージャー氏名	若泉 哲也

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	・平成32年度に公営企業会計へ移行の準備を進める。 ・人口動向に注視し説明会等で市民の理解を得ながら整備を進める。	③改革・改善内容	公営企業会計移行にあたっては、さまざまな課題があることから、今後も計画的に準備を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	・平成27年度に基本方針を、平成28年度に固定資産整理を実施した。 ・下水道事業説明会を平成27年度に2回、平成28年度に2回実施し、市民の理解を得ながら整備をすすめた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	公共下水道	意図(対象をどうするのか)	公共下水道の整備を進め、供用開始区域を拡大し、市民の良好な生活環境を確保する。
②施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道新設による供用開始区域の拡大 ・公共下水道施設の適正な維持管理 ・公共下水道事業の健全な経営 			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理施設整備計画に基づき、下水道事業を計画的に進める。 ・上下水道料金の徴収一元化により、使用者の利便性を図る。 			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	公共下水道(汚水)を整備したことにより、下水道普及率が5%上昇した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	上水道普及率	%	76.5	76.5	調査中	上昇
	ii	下水道普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)	%	59.0	62.8	64.0	68.0
	iii	下水道水洗化戸数	戸	25,665	27,480	27,902	29,300
③基本事業成果指標	i	上水道普及率	%	76.5	76.5	調査中	上昇
	ii	下水道普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)	%	59.0	62.8	64.0	68.0
	iii	全県域汚水適正処理化構想見直し数	件	0	1	0	1
	iv	全体計画見直し等の実施数	件	0	0	0	1
	v	下水道管渠清掃延長	m	2,950	4,474	2,872	4,070
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)		平成29年度予算		
事業費(千円)	2,540,797	2,761,716	(単位:円) 25,421 円		2,818,873		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化により、今後維持管理費の増加が課題となる。このような中、有効な財源を確保し、市民の理解を得て事業を進めていく必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	公共下水道整備により、使用可能な人口が増加するなど、成果指標に関しても概ね上昇している。

V 今後の方向性

①成果の方向性	→維持	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	下水道建設に要する経費		
④上記方向性の説明	公営企業会計への移行準備を進めるとともに、特定財源の確保とコストに留意し、下水道使用可能区域拡大のため整備を進める。		